



☆ 色とりどりの…

春がやってきました。暖かくなって、いろいろな花が咲き始め、心もウキウキ、ワクワクする季節です。けれども、感染症も怖くて、なかなか外に出られませんね。そこで今回は、春の雰囲気いっぱいの絵本を選んでみました。色とりどりの花も咲き乱れますので、空想のお出かけを楽しんでみてください。

お久しぶりのすばなしの会みみずくも、早く通常通りのおはなし会が開ける日を楽しみにしています。



春がきた！



絵本・もいもい

市原淳作、開一夫監修、ティスカヴァー・トゥエンティワン

赤と青の、渦巻きのような不思議な丸い物体“もいもい”。“もい”と話しながら、画面の中を浮遊したり、変形したり、増殖したり……。

東京大学あかちゃんラボ発の不思議な絵本。奇妙な形と音の繰り返しは、赤ちゃんの心を引きつけます。赤ちゃん研究から生まれた絵本です。

絵本・ルラルさんのにわ

いとうひろし作、ポプラ社

ルラルさんは、自分の庭が自慢のタネで、だれにも入らせようとしません。ところが、ある朝、庭を見ると、ワニが入ってきていて……。

明るい色彩と、愉快な発想の絵本。最後のページの、みんなの幸せそうな顔は、こちらまで楽しい気分にさせてくれますよ。

科学絵本・チューリップ

荒井真紀作、小学館

手のひらの上に一粒のチューリップの球根。秋になったら土の中に植えて、育ててみましょう。冬の寒さに耐え、春、色とりどりの花を咲かせてくれますよ。そのチューリップの生態を、分かりやすい文章と細密な絵で描いた絵本。咲きそろったチューリップの絵は、とても美しいですよ。『たんぽぽ』(金の星社刊)も併せてどうぞ。

絵本・はらぺこあおむし

エリック・カール作、もりひさし訳、偕成社

葉っぱの上に小さな卵が一つ。ある暖かい日曜日朝、その小さな卵から小さなあおむしが生まれます。あおむしははらぺこです。そこで、いろいろなものを食べて、大きくなって、やがて……。

大胆な構図と、色鮮やかなコラージュがお話を引き立てます。ちょっとした仕掛けもありますよ。

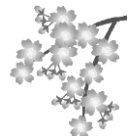


科学絵本・さくらがさくと

とうごうなりさ作、福音館書店

三月半ばの月曜日、まだ寒くて、駅に向かう人々も速足です。けれども、桜の木は、暖かくなってきたことをきちんと知っていて、春に向けての準備を始めています。

桜を通して、自然と人間との関わりを描いた絵本。大画面を活かした絵は、科学絵本を超えた美しさがあります。



☆ すばなし会のお知らせ

“すばなしの会みみずく”では、すばなしと絵本の読み聞かせを、毎月第3土曜日に行っています。ぜひ、楽しいおはなしを聞きに来てください！



次回は **5月15日(土)、6月19日(土)**
時間 **午後3:00～3:30**
場所 **西部図書館 視聴覚室**



☆ あめです！

とうとう雨の季節がやってきました。じとじと、じめじめと嫌な季節ですけど、楽しいこともきっとあるはず。ということで、今回は、雨を楽しむ絵本を集めてみました。グラフィカルな美しい絵本からコミカルな絵本まで、雨の日って楽しい！ と思っていただけると嬉しいです。



アメ・雨・あめ



絵本・あめかな！

U. G. サト一作・絵・福音館書店

空が暗くなって雨が降ってきました。ぽっ、ぽっ。ざあ、ざあ。やがて世界は虹色に包まれて……。

カラーインクと水が織りなすぼかし絵の世界が、雨の日の雰囲気美しく表現しています。擬音を多用した短文も子どもの想像を広げてくれます。空、雨、光をカラフルに、グラフィカルに描いた絵本です。

絵本・かさ

木田大八作・絵・文研出版

雨の日の夕方、赤い傘をさした女の子が、駅までお父さんを迎えに行きます。手には大きなお父さんの傘。

黒一色の中に、女の子の傘の赤だけが浮き立った絵本。文字はなく、街並みに行く女の子の姿だけで物語が進みます。帰りは、お土産を買ってもらい、お父さんと一緒に帰ってきますよ。

絵本・ゆかいなかえる

ジュリエット・ケベシュ(キーフス)文・絵、石井桃子訳・福音館書店

水の中、ほかの兄弟たちは食べられ、たった4つ残った卵。そこから生まれたオタマジャクシは、やがて立派なカエルになります。そして毎日、潜ったり、泳いだり、遊んだりと楽しく暮らします。

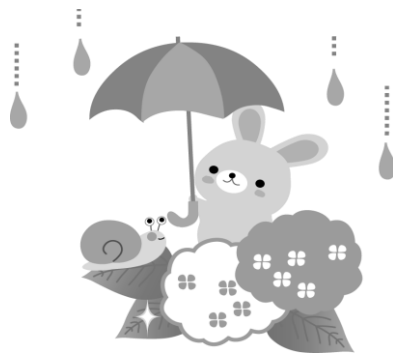
ユーモラスな絵とリズムカルな文章で、カエルの1年を描いた絵本。愉快的カエルたちの楽しいお話です。

絵本・どろんここぶた

アーノルド・ローベル作、岸田衞子訳、文化出版局

お百姓の家のブタ小屋に住んでいたこぶたは、柔らかい泥んこの中に沈んでいるのが大好き。ところが、ある日、お百姓のおばさんに、泥を掃除機で吸われてしまい、怒ったこぶたは家出をしますが……。

地味な色合いですが、漫画調の絵は表情豊かで、笑いを誘われますよ。



絵本・あめがふるとき

ちょうちょうはどこへ

メイ・ゲアリック文、レナード・ワイズガード絵、岡部うた子訳、金の星社

雨が降る時、ちょうちょうはどこへ行くのでしょうか。羽が濡れたら飛べません。モグラは穴へ、ミツバチは巣へ、ネコは家へ入ります。でも、ちょうちょうは？

静かに降る雨の中の動物たちの生態を、単色で、柔らかいタッチの絵と、詩情豊かな文章で描いた絵本です。



☆ すばなし会のお知らせ

“すばなしの会みみずく”では、すばなしと絵本の読み聞かせを、毎月第3土曜日に行っています。ぜひ、楽しいおはなしを聞きに来てください！

次回は 7月17日(土)・8月21日(土)・9月18日(土)
時間 午後3:00～3:30
場所 西部図書館 視聴覚室



みみずく通信

No.107

2021.7.17

発行：すばなしの会みみずく

HP：https://subanashi.ml/

☆ あともう少し

そろそろ夏休みになりますね。オリンピックも始まりますし、海に山にとお出かけしたくなってきますね。でも、新型コロナウイルスの影響はまだまだ続いていて……。お出かけはちょっと……という方もいらっしゃるのでは。そこで、今回は、夏を感じられる絵本を揃えました。それとともに、5月にはエリック・カール氏が、昨年12月には安野光雅氏がお亡くなりになりました。追悼として、お二人の絵本もご紹介したいと思います。楽しんでみてください。



夏だ！



絵本・すいか！

石津ちひろ文、村上康成絵、小峰書店

おじいちゃんの畑で大きく育ったおいしそうなすいか。パリッ、パリリン！と割って、おもいっきりかぶりつく……あまーい！

色彩豊かな絵と、「す」「い」「か」の文字で始まる言葉遊びも楽しい絵本。見開き一面に描かれたすいかはとてもおいしそうで、食べたくなっちゃいますよ。

絵本・しりたがりやのちいさな魚のお話

エルサ・ベスコフ作・絵、石井登志子訳、徳間書店

しりたがりやの魚の子スイスイは、ある日、水のない世界へ釣り上げられてしまいます。スイスイを釣った男の子トーマスは大喜びで家に連れて帰りますが……。

正統派で美しい絵に、ユニークなお話の絵本。スイスイの周りにおじさん、おばさんたちの、スイスイを見守る目のやさしさが感じられるお話です。



科学絵本・あさがお

荒井真紀文・絵、金の星社

春にまいた小さなあさがおの種。やがてそこから芽が出て、葉を広げ、つるを伸ばし、美しい花を咲かせます。この本は、そのあさがおの一生を描いた絵本です。温かみのある色彩の絵は精緻で、細部まで描きこまれています。見開きいっぱい咲いたあさがおの絵は圧巻ですよ。

絵本・どろだんご

たなかよしゆき文、のさかゆうさく絵、福音館書店

土を掘って水を入れ、ぐにぐにかき混ぜて、さあ、どろだんごを作りましょう。泥の塊に、小石を入れたり、乾いた砂をまぶしたり。できたら硬さ比べだよ。

子どもたちが大好きなどろだんご作り。大人も真剣になってしまいます。その中にも、いろいろな工夫がありますよ。



絵本・たなばた ~中国の昔話~

君島久子再話、初山滋画、福音館書店

天女たちが川に水浴びに来ていた時、牛飼いは織姫の着物を隠して結婚します。子どもも生まれて、幸せに暮らしていましたが、織姫は天の王母さまに連れ帰されてしまい……。

みなさんご存じの七夕伝説。その中でも、この絵本は中国の昔話をもとにしたものです。

リズムのある線と淡い水彩の絵は幻想的で、物語の世界を美しく描き出しています。



☆ すばなし会のお知らせ

※ 次回は、 8月21日(土)、 9月18日(土)、 10月16日(土) です。



☆ 今年5月、『はらぺこあおむし』でおなじみのエリック・カール氏が亡くなったというニュースが飛び込みました。また、それより半年弱前になりますが、昨年12月には美しい細密画で有名な安野光雅氏が亡くなりました。お二人の死は驚きとともに、深い悲しみも連れてきました。お二人とも子どもの本の世界には大変な貢献をされた方々なので、惜しいとしか言えません。そこで、ここでは、お二人を追悼して、お二人の素敵な絵本をご紹介しますと思います。改めまして、お二人のご冥福をお祈りいたします。

絵本・はらぺこあおむし

エリック・カール作、もりひさし訳、偕成社

葉っぱの上に小さな卵が一つ。ある暖かい日曜日の朝、その小さな卵から、小さなあおむしが生まれます。あおむしはおなかがぺこぺこ。そこで、いろいろなものを食べて、大きくなって、やがて……。

大胆な構図と、色鮮やかなコラージュがお話を引き立てます。ちょっとした仕掛けもありますよ。

絵本・くもさんおへんじどうしたの

エリック・カール作、もりひさし訳、偕成社



ある朝、くもは農場の柵に巣を張り始めます。そこへ、ウマ、ウシ、ヒツジ、……とやってきて遊びに誘いますが、くもは巣作りに忙しくて返事をしません。

しゃれたデザインの切り絵の絵本。特殊なインクで印刷されたクモやハエ、クモの糸は浮き出ている、触って遊べますよ。

絵本・旅の絵本(全9巻)

安野光雅作、福音館書店

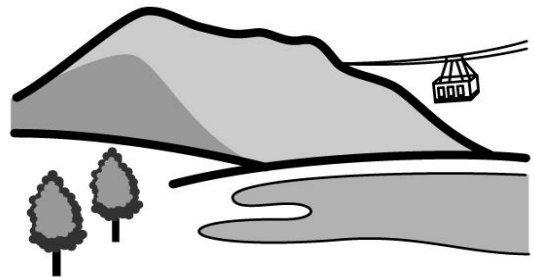
美しい風景の中を馬に乗った旅人さんが一人。その旅は、中部ヨーロッパに始まり、イタリア、イギリス、……日本、スイスまでの全9巻。景色は細部まで描きこまれ、そこに住む人々の生活や行事、時には名画や昔話の一場面なども映しだしています。旅人さんと一緒に、そんな一場面を探してみるのも楽しいですよ。

絵本・ちいさなくも

エリック・カール作、もりひさし訳、偕成社

大きな雲たちと一緒に、ゆっくり空を流れているちいさなくもは、途中でそれてしまいます。そこで、ちいさなくもは、体をぐーんと大きくして、ヒツジ、飛行機、サメなど、いろいろなものに変身してゆき……。

空色の画面いっぱいに変身した、白い雲の絵がシンプルな絵本。子どもの空想の力も広がられますよ。



絵本・もりのえほん

安野光雅作、福音館書店

美しい森の風景。でもじーっと目を凝らしてよく見ると、あつ、あつちにもこつちにも何かいるみたい。森の中には130余りの動物が隠れています。すぐ分かるものもあれば、じっくり見ないと分からないものも。枝と枝の絡まり、木肌、葉の流れなどから見えてくるものもありますよ。親子で楽しめる隠し絵の絵本です。

★ すばなし会のお知らせ

“すばなしの会みみずく”では、すばなしと絵本の読み聞かせを、毎月第3土曜日に行っています。ぜひ、楽しいおはなしを聞きに来て下さい。

次回は
時間
場所

8月 21日、 9月 18日、 10月16日
午後 3:00 ~ 3:30
西部図書館 視聴覚室





☆ メリークリスマス&ハッピー・ニューイヤー

コロナも、ここのところ少し落ち着いて、やっと年末という気分になってきました。町のイルミネーションも、今年は楽しく見ることができそうです。そこで、今回は、楽しいクリスマスの絵本と、来年の干支・トラの絵本をご紹介します。まだまだ油断は禁物ですが、少しでも楽しい年末年始になることを祈ります。



Merry Christmas !



絵本・ **サンタさんのおとしもの**

三浦太郎作. あすなろ書房

寒い、寒いクリスマス・イブの夜のこと。町へお使いに出ていた女の子は、サンタさんの手袋を拾います。そこで、女の子は、手袋をサンタさんに届けてあげようと思いますが……。

優しい女の子の、かわいらしいお話。スタイリッシュで美しい絵の、心温まるクリスマスの絵本です。

絵本・ **ムーミン谷のクリスマス**

アレックス・ハリティ. セシリア・タヴィッドソン文.
フィリッパ・ヴィードルンド絵. トーベ・ヤンソン原作.
オスターグレン晴子訳. 徳間書店

今は冬。ムーミン一家は、ぐっすり冬眠中です。そこへ、ヘムルが「クリスマスがもうすぐやってくるんだぞ！」と起こしにきます。ところが、冬はいつも冬眠しているムーミンたちにはクリスマスがわからなくて……。

トーベ・ヤンソンの短編『もみのき』を絵本にしたもの。美しい絵で、ムーミン一家の大活躍を描きます。

絵本・ **くろうまブランキー**

伊東三郎再話. 堀内誠一画. 福音館書店

黒馬・ブランキーのご主人は、とても意地悪な人でした。ご主人は、ブランキーが年をとって、大きな荷物を運べなくなると、ブランキーをたたきました。その夜、道に倒れたブランキーのところへ、サンタクロースが降りてきて……。

優しい色彩の、温かみのある絵本。心穏やかな気持ちにしてくれます。

絵本・ **サンタクロースの冬やすみ**

マウリ・クナス作. いながきみはる訳. 偕成社

クリスマス・イブの夜、サンタクロースと小人たちは、世界中の子どもたちにプレゼントを配り終えて、サンタ村に帰ってきました。さあ、12月25日～1月6日までは、サンタ村の冬休みです。クリスマスや新年の行事はもちろんのこと、遊びの日やいたずらの日まであります。

細部まで描かれた絵は、とても楽しく、一つ一つ丁寧に見ていきたくくなりますよ。



絵本・ **トムテ**

リードベリ作. ウィーベリ絵. やまのうちきよこ訳. 偕成社

明日雪の夜、トムテは一人目覚めていて、一つの難しい問題を考えていました。人は、どこから来て、どこへ行くのだろうか……。

トムテは、スウェーデンの農場に住んで、農場とその持ち主の幸福を守る小人です。クリスマス・イブの夜には、お礼のおかゆをお供えするそうです。この本は、そのトムテのある夜の姿を詩にしたものです。



☆ すばなし会のお知らせ

※ 次回は、2022年 1月 15日 (土)、2月 19日 (土) です。



☆ 来年の干支は、トラ。強く勇敢だったり、ちょっとお茶目だったり、いろいろなトラの絵本を選びました。お正月らしい絵本もありますので、楽しんでみてください。



Happy New Year!

絵本・とらたとおおゆき

なかがわりえこ文、なかがわそうや絵、福音館書店

雪が降りました。トラの子・とらたは、お父さんにソリを作ってもらいます。そのソリにサンタクロースからもらった鈴を付けてもらって、公園へと出かけると、鈴の音を聞きつけて、友だちが寄ってきます。

とらたたちの楽しげな歓声が聞こえてきそうな絵本。雪の日に読みたくなる一冊です。

絵本・トラのじゅうたんに ないたかったトラ

ジェラルド・ローズ文・絵、ふしみみさを訳、岩波書店

年老いて痩せこけトラは、王さま家族が宮殿の広間でご飯を食べているのを見て、自分も仲間に入りたいと思います。ある日、召使いが庭でトラの絨毯を干しているのを見たトラはいいことを思いつきます。

美しい色使いの、愉快なトラの絵本。年はとっていても、すごく勇敢なトラですよ。

絵本・おちゃのじかんにきたとら

ジュテイス・カー作、晴海耕平訳、童話館出版

ある日、ソフィーとお母さんがお茶の時間にしようとしていると、「お茶の時間に、ご一緒させていただけませんか?」と言って、トラがやってきました。そこで、お母さんが招き入れると……。

大きくて、毛むくじゃらで、とてもおいしいん坊のトラがやってきました。美味しいものと、おおらかさにあふれた絵本です。

絵本・だるまちゃんととらのこちゃん

加古里子作/絵、福音館書店

だるまの子・だるまちゃんは、とらの町に住むペンキ屋の子・とらのこちゃんのところへ遊びに行きます。二人が、黄色と赤の土で作ったペンキで、町中の道や壁にきれいな模様をどんどん描いていると……。

子どもたちの大好きな泥遊びが本当のペンキ屋の仕事にまでなるお話。人気シリーズの一冊です。



絵本・14ひきのもちつき

いわむらかずお作、童心社

今日は、森に住むネズミの家族の餅つきの日です。朝から大人たちは大忙し。起きてきた子どもたちもお手伝いです。薪を割って、かまどに火を入れ、お米を準備して……。

細部まで描かれた透明感のある絵は、温かみがあり、やさしい文章と相まって穏やかな気持ちにしてくれます。出来上がったお餅は、とてもおいしかったですよね。



☆ すばなし会のお知らせ

“すばなしの会みみずく”では、すばなしと絵本の読み聞かせを、毎月第3土曜日に行っています。ぜひ、楽しいおはなしを聞きに来て下さい。



次回は
時間
場所

2022年 1月 15日、 2月 19日
午後 3:00 ~ 3:30
西部図書館 視聴覚室